

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ステラケミア(株)泉工場内倉庫新築	階数	地上3F
建設地	泉大津市臨海町	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	0時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2019年7月8日
敷地面積	24,838 m <sup>2</sup>	作成者	井本 有生
建築面積	1,075 m <sup>2</sup>	確認日	2019年7月10日
延床面積	2,232 m <sup>2</sup>	確認者	井本 有生



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 2.0**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.4

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.1

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
太陽光発電を採用し、エネルギー消費量の低減を図った。	特に無し	
Q1 室内環境 事務所部分には、吸音材及びF☆☆☆☆の建材を採用し、居住性を高めた。	Q2 サービス性能 壁長さ比率を低く設定し、また階高を高くすることで、将来のプラン変更等にフレキシブルに対応できるように配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し
LR1 エネルギー LED照明等の高効率設備及び太陽光発電を採用することで、建物から発生するエネルギー量の低減に努めた。	LR2 資源・マテリアル デッキスラブを採用し、鉄筋等の使用材料の低減に努めた。	LR3 敷地外環境 建設に伴って発生するCO <sub>2</sub> の発生量を低く抑えることで、地球温暖化防止に寄与した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0065

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	ステラケミファ(株)泉工場内倉庫新築工事						
	建設地	泉大津市臨海町						
	用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						5	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				5.0	5	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							